

しも ぶ ろ 下風呂地区



下風呂温泉は、のどかな温泉場の雰囲気を持っています。地元でも新湯派、大湯派という泉質の支持者が多くいて、異なった泉質を楽しむことができます。新湯と大湯を結び切り通しの道は風情があります。大間町まで計画された幻の下北鉄道の鉄道橋跡に、遊歩道、足湯、駅舎、レール等を配したメモリアルロードからは下風呂温泉全景や津軽海峡の雄大な景色を楽しめます。

メモリアルロードを下った先に、いさりび公園があります。公園内には井上靖文学碑や、渡米前に下風呂温泉に滞在した新島襄の記念碑など下風呂温泉の歴史を知ることができます。特に新島襄は、八重の桜で有名になった会津藩士の娘八重と結婚し、同志社大学を創設しました。この縁から、今でも同大学の合宿が下風呂温泉で行われるなど深い交流が続いています。

烏賊様レース会場をはじめ、多くのホテルや旅館が建ち並び下風呂温泉を是非散策して下さい。メモリアルロードへ行く際は、坂の上の公民館駐車場をご利用下さい。



海峡いさりび公園



海峡いさりび公園



新島襄寄港記念碑



メモリアルロード



メモリアルロード内足湯



「大湯」の源泉



下風呂は坂の町。坂にはそれぞれ名称があり、看板が立てられています。
(左)「大湯」近くの湯つなぎ坂



(右)ガードをくぐる若がえりの坂



易間海岸



メモリアルロードから見える下風呂温泉街



稲荷神社



公共浴場「大湯」



「大湯」から浄土寺へ向かう切通し

や げ ん 薬 研 区 6 地区



薬研は一般的には、漢方薬をすり潰す道具で、細い溝に薬を入れ丸い円盤状のものですり潰す道具です。その形に似ていることから、薬研と言われるようになったといわれています。

薬研渓流は、大畑川が下北半島の中心部の山岳地帯を削り取り、大滝など雄大で素晴らしい景色を創り出しています。圧倒的水流と岩や木々が織りなす景観を是非見て下さい。

無料で入浴できるかっぱの湯、夫婦かっぱの湯など多くの憩いの施設を有し、昔のトロッコのレールを残した遊歩道や、トンネル、吊り橋など多様な散策スポットがあります。

薬研からは、恐山、佐井村、易国間などへ抜ける道路があり、まさしく半島の中心部と実感できます。ぜひ、きれいな水と深い森、清々しい空気を楽しみながら散策しましょう。



サイメイ沢橋



奥薬研橋



乙女橋(つり橋)



トンネル



夫婦かっぱの湯



全国各地から送られた植樹記念碑とレール散歩道



奥薬研修景公園レストハウス



足湯(修景公園)



ホテルニュー薬研前



紅葉の薬研溪流

清々しい空気と圧倒的水流にしばし時間の経つのを忘れてしまいます。



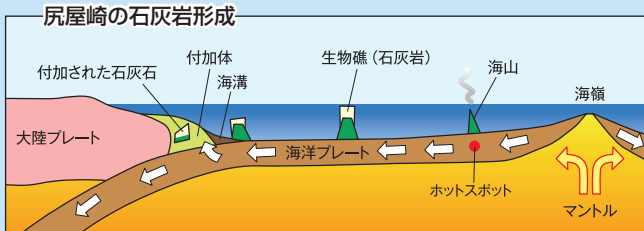
し り や ざ き
尻屋崎
7 地区



尻屋崎は下半島の北東端に位置し、灯台を境に津軽海峡と太平洋に面しています。日本海と太平洋の水位差が45cmあるため、尻屋崎沖は津軽海峡の出口として怒濤渦巻く激流で昔から船の墓場と恐れられていました。このため、1876（明治9）年、東北地方最初の灯台が設置され現存しています（高さ32.8m）。

尻尾崎は石灰岩等堆積岩で形成されています。太平洋の底に積もったプランクトン等のカルシウムが太平洋プレートの移動により日本海溝に落ち込み、プレートの表面の地層だけが日本の陸地に押されて付加されたと考えられています。

立待島、草石付近ではチャート^{*}が褶曲している様子が
見られます。藤石崎付近
では、石灰石やチャー
トが波の力で浸食さ
れて穴があいた岩
を見ることがで
きます。



※チャート
4 km以上の海底に植物動物のカルシウムが沈殿堆積し水圧を受けた極めて硬い石。俗称火打石、あぶら石という。浅い海底に堆積したカルシウムは石灰石になり、石灰石がマグマの熱で再結晶したものが大理石。



尻屋崎 (寒立馬放牧地)

明治9年、イギリスの建築家プラントンによって設計された東北最古の洋式レンガ造り灯台。日本の灯台50選に選ばれています。



【ゲート開放時間】
4月1日~30日 8:00~16:00
5月1日~11月30日 7:00~17:00
※冬期間と上記時間外は閉鎖されます。



かわうち 川内地区

川内川溪谷遊歩道



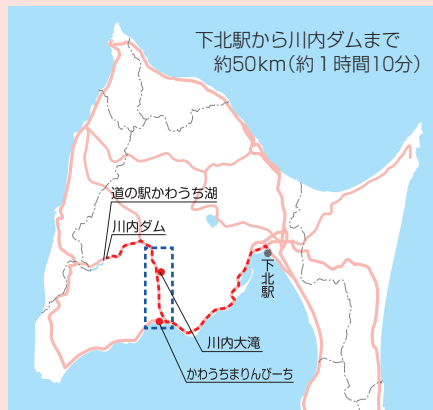
「むつ市陶芸センター」では宇賀焼の体験ができます(要予約)。



宇賀焼



大滝の川内川



下北駅から川内ダムまで
約50km(約1時間10分)

道の駅かわうち湖
川内ダム
下北駅
川内大滝
かわうちまりんびーち

陸奥湾に面するむつ市川内町は、海の静穏度が良く、天国の海岸と言われています。明治以前の北前船をはじめとする船の修理は、川内町の船大工が一手に行っていたと言われています。明治になり、函館に造船所を造る必要から、川内の船大工の多くは函館へ移住しました。その後は、下北のヒバで栄えました。

かわうちまりんびーちは、駐車場のすぐ先が海岸となっており、海水浴で賑わいます。また、コバルトブルーの水が映える上流部の川内大滝や、川内ダム、道の駅かわうち湖など数多くの施設を有しています。

町内には由緒ある寺や、川内八幡宮など歴史を感じる寺社が数多くあります。川内川沿いや、海岸線の遊歩道をぜひ散策してみましょう。



川内ダム



道の駅かわうち湖



旧法岳スキー場

特別養護
老人ホーム
せせらぎ荘

旧林業研修センター
陶芸センター

獅子畑橋

(陶芸センター～あじさい橋) 約1.1km

主要地方道川内佐井線

ふなばし
デリス
ショッピング

かわうちまりんびーち

←脇野沢・仏ヶ浦

338

川内仲崎観音堂

卍

川内橋



八幡宮

¥ けんしんよう
川内支店

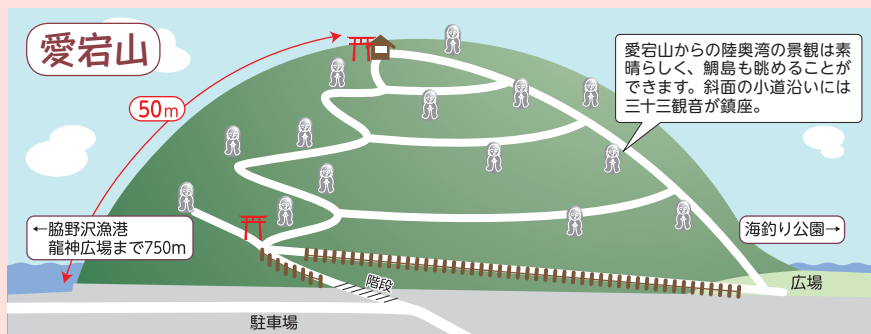


わきのさわ
脇野沢
9地区

漁港の先の橋を渡ると愛宕山公園があります。山頂へは5分程度で着きますが、山頂からの景観は抜群です。脇野沢川に架かる多数の橋や、施設など一見下北以外の地に見えますし、陸奥湾を向けば、海水浴場、海釣公園、深緑色の海原など素晴らしい景色です。山頂への遊歩道には三十三観音像が配され、真夏でも海からの風に吹かれる

野猿公苑、いのししの館のぼたん鍋、いわしの焼き干しなど多くの名物があります。町中の道路の正面に赤い鳥居が見えます。脇野沢八幡宮です。小高い社の位置からは町中や海を見渡せます。車でおいでの際は左側道路を上った先にある空き地を利用して下さい。愛宕山から2km先には鯛島を正面に望む農村公園があります。トイレも整備され素晴らしい景観が楽しめます。

さあ、ぜひ風薫る里脇野沢を歩いてみましょう。



愛宕山から脇野沢川を望む



愛宕山から海釣り公園を望む

